

千駄堀池の生きもの紹介

令和2年7月19日の外来生物調査で見つかった、千駄堀池の生きものをご紹介します！

下は展示の見方と、希少性、侵略性の評価に関する説明です。

水色が在来種、オレンジ色が外来種です。ごゆっくり、ご覧ください。

在来種

・希少性の評価



種名

科名

大きさ：〇cm

解説文



千駄堀池でのレア度

(★マークが多いほど希少で、保全対策が必要な種)

希少性の評価について

【環境省レッドデータブック】

日本に生息又は生育する野生生物について、専門家で構成される検討会が、生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を科学的・客観的に評価し、その結果をリストにまとめたもの。

→今回の調査では、残念ながら該当する生物は見つかりませんでした。

【千葉県レッドデータブック】

法的規制等の強制力を伴うものではないが、多くの方に貴重な野生生物の現状を理解し、自然との共生のあり方を考えてもらうことを目的に千葉県が保護上重要な野生生物をリストにまとめたもの。X,A,B,C,Dの5つのカテゴリーに分類されている。

X：消息部名・絶滅生物 A：最重要保護生物 B：重要保護生物 C：要保護生物 D：一般保護生物

外来種

・侵略性の評価



種名

科名

大きさ：〇cm

解説文



千駄堀池での警戒レベル

(ⓧマークが多いほど、緊急対策が必要な種)

侵略性の評価について

【特定外来生物】

農林水産業、人の生命・身体、生態系への被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から、外来生物法に基づき指定された生物。輸入、飼育や運搬、野外に放すことが原則禁止されている。

【生態系被害防止外来種】

特定外来生物被害防止法による規制の対象外であるが、日本国内で生態系や人、農林水産業に悪い影響を及ぼす恐れのある生物。今回は次の3つのランクの外来種が見つまっている。

緊急対策外来種：すでに国内に定着し、生態系等への被害を及ぼしている又はそのおそれがあり、甚大な被害が予想される外来種。

重点対策外来種：すでに国内に定着し、生態系等への被害を及ぼしている又はそのおそれがあり、対策の緊急性が高い外来種。

定着予防外来種：国内に未定着だが、定着した場合に生態系等への被害のおそれがある外来種。

【日本の侵略的外来種ワースト100】

日本生態学会が定めた、日本の外来種の中でも特に生態系や人間活動への影響が大きい生物。

【世界の侵略的外来種ワースト100】

国際自然保護連合（IUCN）の種の保全委員会が定めた、本来の生育・生息地以外に侵入した外来種の中で、特に生態系や人間活動への影響が大きい生物。